

2022年8月26日

遺伝子組換えセイヨウナタネの生物多様性影響評価のための栽培が終了しました。

8月22日に、越夏性を評価する試験区の栽培個体をすべて抜き取って処分しました。栽培を実施した土壌部分は写真のようにバーナーで焼くことで植物残渣を不活化し、栽培試験のすべてを終了いたしました。

